



○ 草の根パートナー型

平成22年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ボリビア
2. 事業名	バジェグランデ市を対象にしたごみリサイクルプロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ごみ処理については、収集、処理などについてボリビアの殆どの市が多くの問題を抱えている。周辺地域や住宅地内の衛生問題、投棄場の維持管理費、水質、土壌汚染などである。 持続可能な、ごみ処理システムの導入が必要であり、2007年から当会で先行して実施しているコマラバ市のごみリサイクルプロジェクトに、バジェグランデ市の興味関心が高く、プロジェクトを実施したい要望があった。
4. プロジェクト目標	バジェグランデ市の最も人口密度が高い中心地域において、新しいごみ（固形廃棄物）リサイクル収集管理システムが導入され、機能する
5. 対象地域	サンタクルス県 バジェグランデ市
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	バジェグランデ市住宅地住民（約2,000世帯、9,000人）
7. 期待されるアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> バジェグランデ市役所で人材が育成され、地域住民の環境に配慮したゴミ処理への理解が深まる 新たなごみリサイクル計画に基づいた分別・収集・運搬が適切になされるようになり、市の政策にも反映される 最終処理（リサイクル）の一環として、有機ゴミの堆肥化が進められる <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> プロジェクトスタッフへの技術研修や教材作成を行うとともに、地域住民を対象とした環境や新ごみリサイクル計画の周知、広報、啓発活動を行う 新ごみリサイクル計画に沿った分別・回収計画を作成し、対象地区住民への分別指導を行い、リサイクル計画を実践するとともに、バジェグランデ市の廃棄物担当者の人材育成を行う。 プロジェクトで建設した堆肥場で、堆肥製造・管理技術を指導するとともに、家庭における堆肥製造方法の普及を行う
8. 実施期間	2013年6月～2018年6月（5年）
9. 事業費概算額	52,838千円
10. 事業の実施体制	事業のカウンターパートであるバジェグランデ市役所と、先行プロジェクトであるコマラバ市が連携を行いながら、プロジェクトを推進する。 従来の、問題の多いごみ処理方法から、リサイクルによる新しいシステムを導入するにあたり、技術移転や仕組みの安定化をプロジェクト期間の早期に行い、終了後の運営をスムーズに行う。 プロジェクトの運営は市役所管轄の第三セクタによる運営を予定しており、住民の支持による新しいごみリサイクルシステムへと成長することを目指す。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	DIFAR (Desarrollo Integrar de la Familia Rural)
2. 活動内容	家庭菜園、家畜飼育普及、エコサントイレ建設、生ごみ堆肥化